

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



本造 阿彌陀如来坐像(真文化財)の脇に
 一老十住阿彌陀如来で後詩の仏と松平重三

助成公益財団法人 瀬戸信用金庫
 地域振興協力基金
 平成三十年九月十六日(日)
 歴史と文化を巡る
 フタ、ハ、ノ、イ、保、全、研、究、会
 松平家・徳川将軍家の菩提寺として
 名高くなつた山松宗院と号し、
 文明の年(1777)松平重三が松平家
 康から五代前の先祖の創建したものである



空物殿(位牌堂)
 松平家・徳川将軍家の
 等身大の位牌堂に位牌
 が並んでいる様子ほこり
 しかた見えない。
 国指定重要文化財の
 冷泉為共障壁画が
 収蔵庫に家康の面影を
 扱った寶木神が大方丈
 に祀られている
 家康19歳の時、
 桶狭間合戦により
 今川義元が倒れた
 ので身の危険を感じ
 じ、大高城から大樹
 寺に逃げ、3代住
 職登善上人に先祖の
 墓前に自書すべく
 寛格のほどを表わ
 す上人の言葉は
 威厳厳微を放ち侍立
 (おんろとびんべいしんご)
 戦国乱世を住み、侍
 工にするのがお前の後目
 後目と訓し、樹める家
 康を翻意させ家康は
 この八文字を終生座右
 の銘とした。
 また家康を救ったカニヌキ
 を立花開道(寶木神)と
 号す。今も大樹寺に
 は安置されている。



冷泉為共(れいせい、たのりか)襖絵の
 將軍御成りの間(重要文化財)

